

TOKIO

会議テーブル DXシリーズ

組立説明書

この度は当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。組立説明書をよくお読み頂き、手順に従って組立ください。
未永くご愛用いただきますよう、お願いいたします。

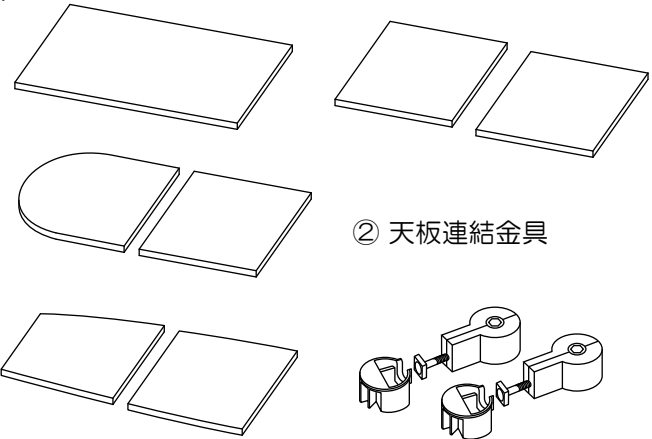
- 注意



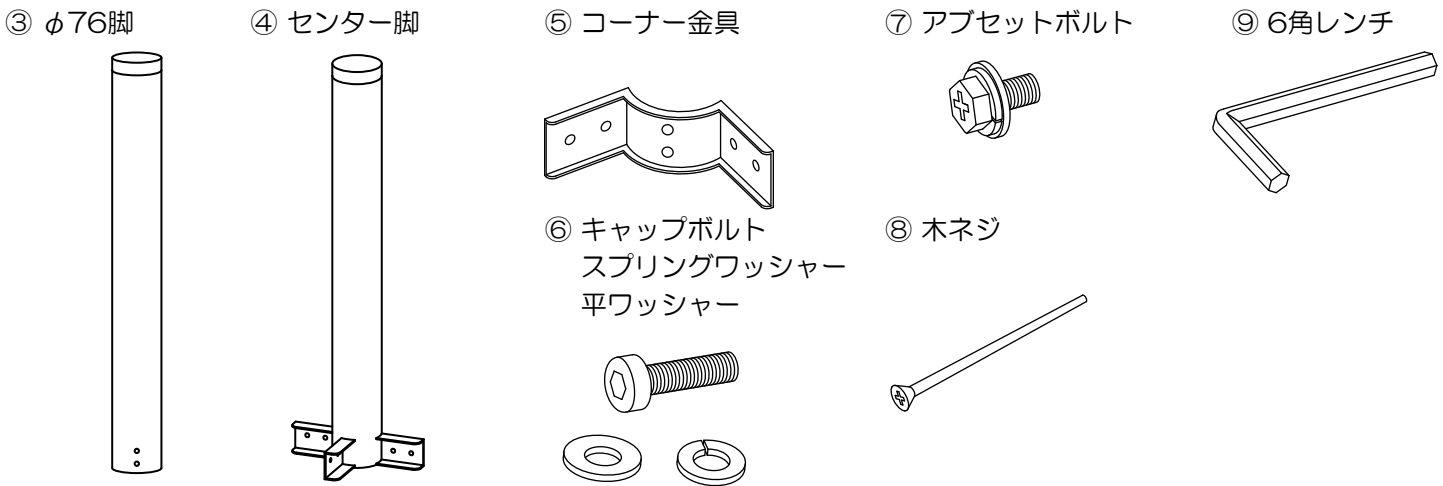
組立の前に必ずお読みください。不適切な組立は事故につながる可能性があります。
重量がありますので、2人以上で組立ててください。
- 工具類の取扱いには十分注意ください。
 - 組立の際は、お子様に注意し広い場所で行なってください。
 - 組立説明書に従って、組立してください。手順を間違えると組立たないことがあります。
また、ネジの部分は確実に組立てください。不十分ですと使用中に製品が破損してけがをすることがあります。
 - 組立の際は、製品及び床面を傷つけないようにご注意ください。
 - 組立の際は、万ーに備え軍手を着用ください。

部材・部品一覧

(組立前に、組立部材・組立部品をご確認ください。)

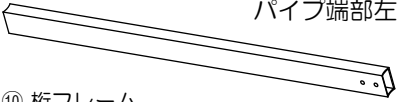
製品名	① 天板	②天板連結金具	① 天板
DX-4812	角型×4枚	9ヶ	
DX-3612	角型×3枚	6ヶ	
DX-2412	角型×1枚	—	
DX-4812R	R型×2枚・角型×2枚	9ヶ	
DX-3612R	R型×2枚・角型×1枚	6ヶ	
DX-2412R	R型×1枚	—	
DX-4812S	舟型×2枚・舟型×2枚	9ヶ	
DX-3612S	舟型×2枚・角型×1枚	6ヶ	
DX-2412S	舟型×1枚	—	

製品名	③ φ76脚	④センター脚	⑤ コーナー金具	② 天板連結金具	⑥ キャップボルト M8×20	⑦ アプセットボルト M8×17	⑧ 木ネジ M5.1×75	⑨ 6角レンチ
DX-4812	4本	2本	4ヶ	9ヶ	8ヶ	28ヶ	20ヶ	1本
DX-3612	4本	2本	4ヶ	6ヶ	8ヶ	28ヶ	16ヶ	1本
DX-2412	4本	—	4ヶ	—	8ヶ	16ヶ	14ヶ	1本
DX-4812R	4本	2本	4ヶ	9ヶ	8ヶ	28ヶ	20ヶ	1本
DX-3612R	4本	2本	4ヶ	6ヶ	8ヶ	28ヶ	16ヶ	1本
DX-2412R	4本	—	4ヶ	—	8ヶ	16ヶ	12ヶ	1本
DX-4812S	4本	2本	4ヶ	9ヶ	8ヶ	28ヶ	20ヶ	1本
DX-3612S	4本	2本	4ヶ	6ヶ	8ヶ	28ヶ	16ヶ	1本
DX-2412S	4本	—	4ヶ	—	8ヶ	16ヶ	12ヶ	1本



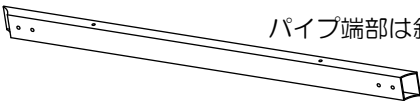
製品名	⑩ D方向	桁フレーム ⑪ W方向	⑫ センター
DX-4812	1=690 2本	1=1914 4本	1=678 1本
DX-3612	1=690 2本	1=1314 4本	1=678 1本
DX-2412	1=960 2本	1=2160 2本	—
DX-4812R	1=690 2本	1=1914 4本	1=678 1本
DX-3612R	1=690 2本	1=1314 4本	1=678 1本
DX-2412R	1=800 2本	1=1560 2本	—
DX-4812S	1=690 2本	1=1914 4本	1=678 1本
DX-3612S	1=690 2本	1=1314 4本	1=678 1本
DX-2412S	1=800 2本	1=1560 2本	—

⑫ 桁フレーム



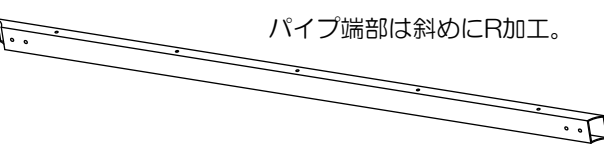
パイプ端部左右均等のR加工。

⑩ 桁フレーム



パイプ端部は斜めにR加工。

⑪ 桁フレーム



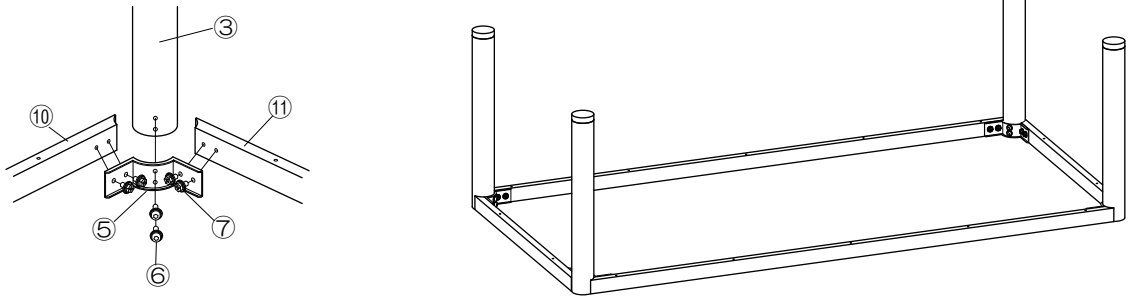
パイプ端部は斜めにR加工。

組立手順

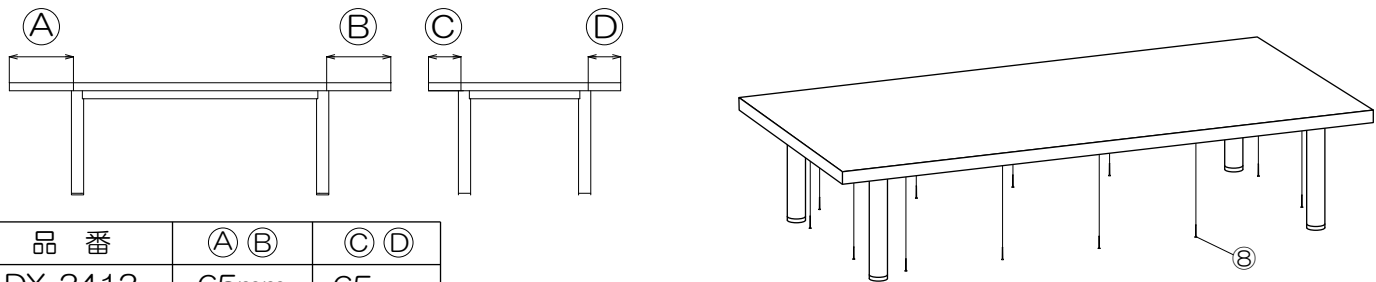
◆ 工具：電気ドライバー・ボックスレンチ・10番スパナ等ご用意ください。

製品名：DX-2412・DX-2412R・DX-2412S

手順1 ③φ76脚に⑤コーナー金具を⑥キャップボルト・スプリングワッシャー・平ワッシャーで止め、⑤コーナー金具に⑩桁フレームと⑪桁フレームを⑦アプセットボルトで仮止めし全体のゆがみ・変形がないかをお確かめの上ボルトをしっかりと締め付けて下さい。

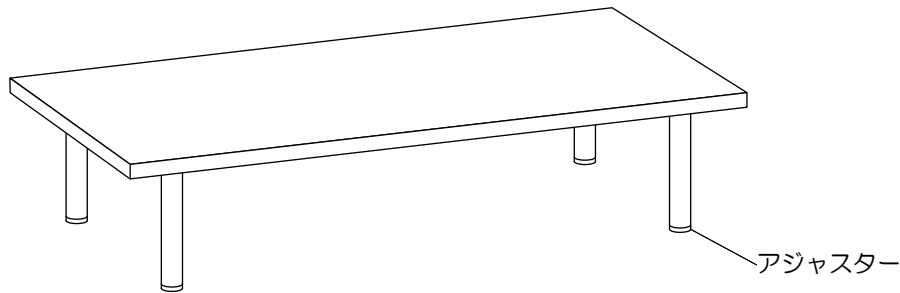


手順2 組立てたフレームに①天板を乗せ、メジャーや定規などで天板の側面から、桁フレームの側面までの寸法A・B・C・Dを計り、天板を取り付ける位置決めをしてください。
それから、電気ドライバーなどで⑧木ネジで天板を止めて完成です。



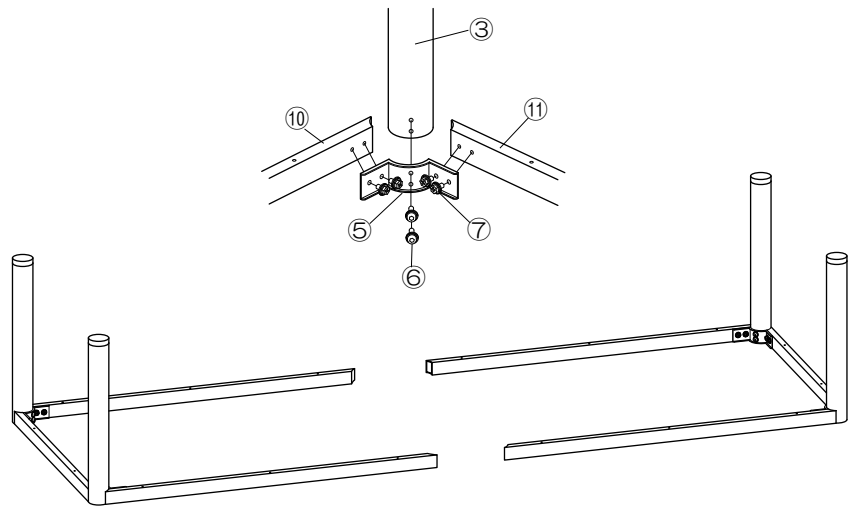
品番	A B	C D
DX-2412	65mm	65mm
DX-2412R	365mm	145mm
DX-2412S	365mm	145mm

手順3 設置後ガタツキがあればアジャスターで調整してください。

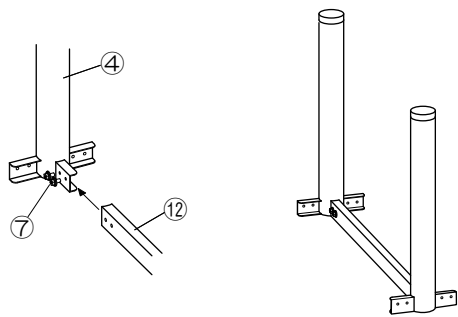


製品名：DX-3612・DX-3612R・DX-3612S
DX-4812・DX-4812R・DX-4812S

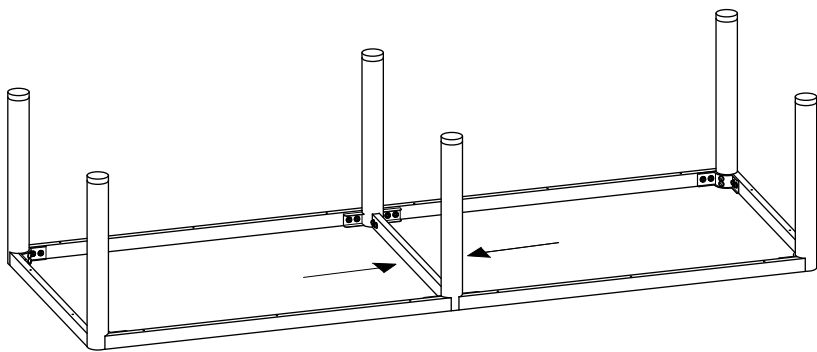
手順1 ③φ76脚に⑤コーナー金具を⑥キャップボルト・スプリングワッシャー・平ワッシャーで止め、⑤コーナー金具に⑩桁フレームと⑪桁フレームを⑦アプセットボルトで仮止めして2セットを、組立してください。



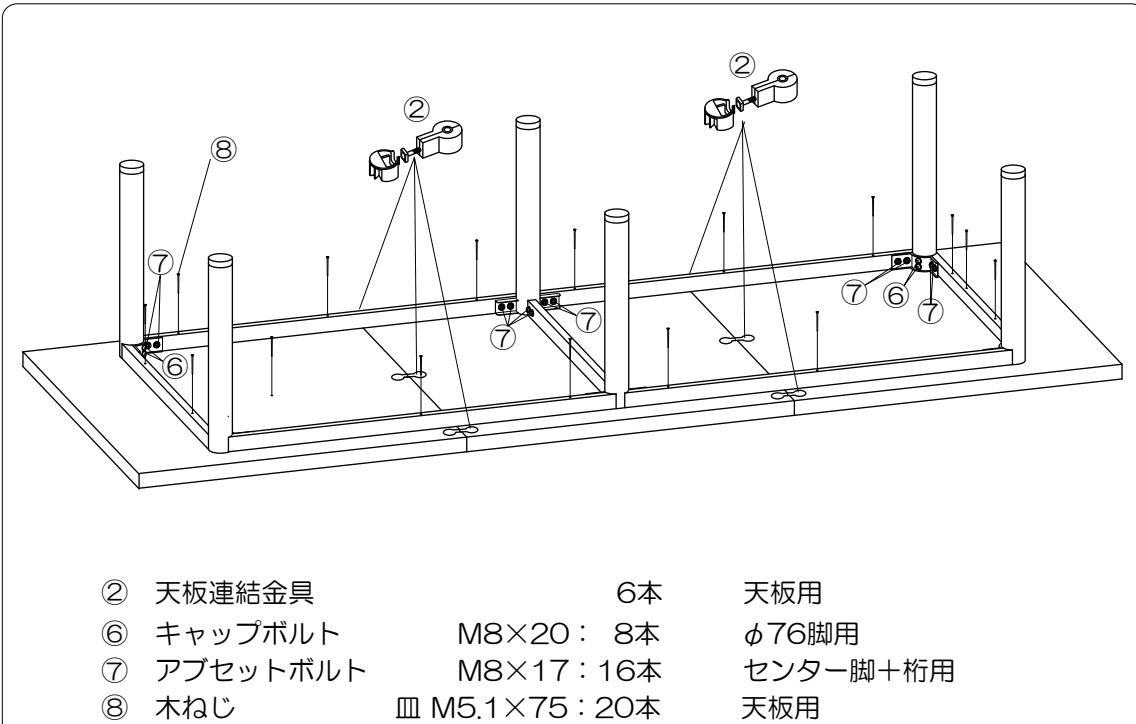
手順2 ④センター脚に⑫桁フレームを差し込み⑦アプセットボルトで仮止めしてください。



手順3 手順1で組立てたφ76脚を手順2で組立てた④センター脚の左右に置き、挟み込むように⑦アプセットボルトで仮止めし全体のゆがみ・変形がないかをお確かめの上ボルトをしっかりと締め付けてください。



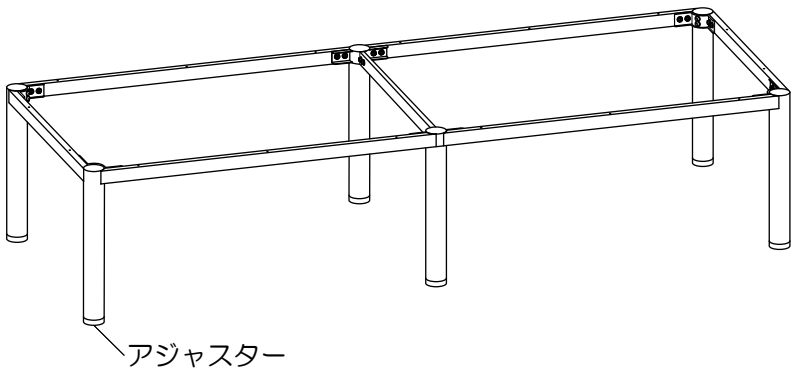
ボルト取付け位置(例：DX-3612 天板：R型・舟型も共通)



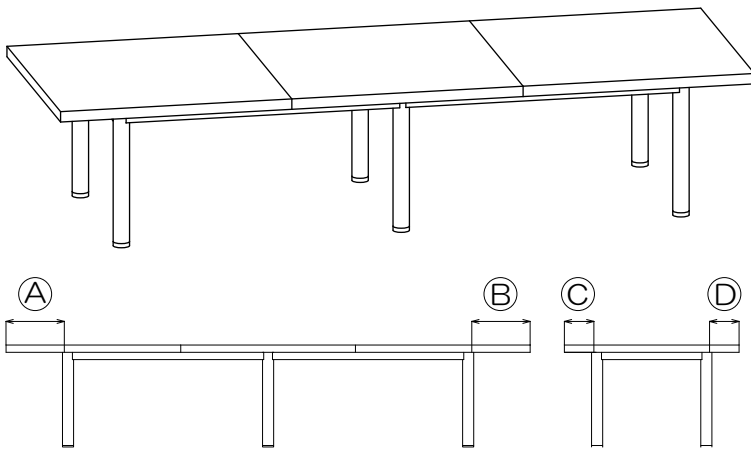
※DX-4812は、天板が4枚に増え連結金具・木ネジの本数が増えますが、組立方法は基本的に同じです。

施工point I

フレーム全体をひっくり返し、所定の位置に設置しフレームのゆがみ・変形などがないかをご確認ください。そして、床とのガタツキがないようにアジャスターでレベル調整を行ってください。(天板を乗せると重くて移動・持ち上げがしにくくなります。)

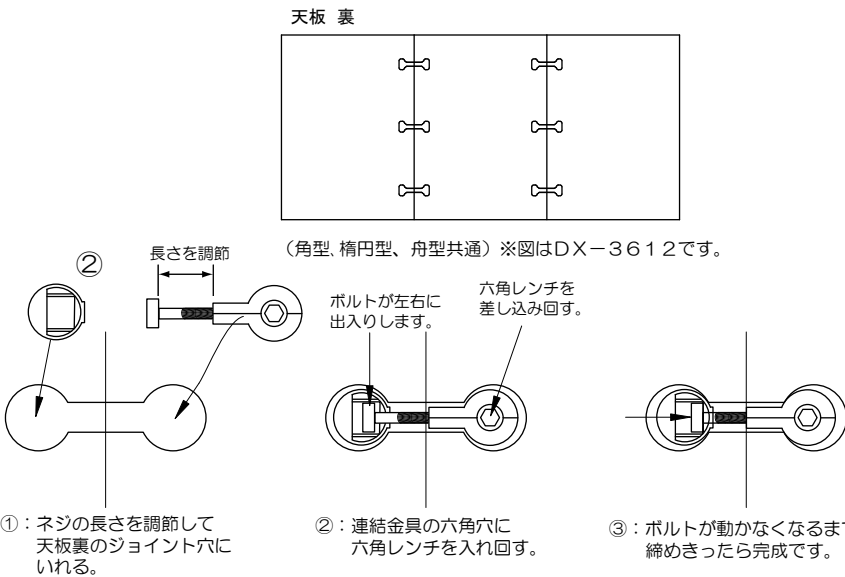


手順4 組立てたフレームに①天板を乗せ、メジャーや定規などで天板の側面から、フレームの側面までの寸法A・B・C・Dを計り、天板を取り付ける位置決めをして下さい。



品番	①A ②B	③C ④D
DX-3612・DX4812	403mm	201mm
DX-3612R・DX-4812R	403mm	201mm
DX-3612S・DX4812S	403mm	201mm

手順5 ①天板と天板の間に隙間ができない様に、天板の裏からジョイント穴に②天板連結金具を納め、②天板連結金具の六角穴に六角レンチを差し込み締め付けてください。



手順6 最後に木ねじを電気ドライバーなどで締付けて完成です。

